

い な づ ま



電線マン衣装を新調し参加した開港一五八周年函館港まつり「ワッショイはこだて」

撮影：伊東 照勝

ご挨拶

理事長 玉津 眞史

今年も残すところ三ヶ月になりました。

五月二十六日開催の第六十九回通常総会では、提出議案総て承認戴きました。二期目に当たり、責任の重さを深く感じております。組合決算では、昨年四月からの電力小売全面自由化により、新電力への契約変更によるスイッチング工事と、街路灯保守委託業務の工事量の増加により、二十八年度は増収増益となりました。剰余金処分では出資金配当、利用分量配当を行う事ができました。組合員の協力の賜物と深く感謝します。

三年後の四月には送配電部門の法的分離が予定され、新しい変革を求められる時代が迫っています。組合運営に於いても真摯に向き合っていく必要があります。

二十九年度は役員改選により、繁田理事、吉田理事、大谷理事、平沼監事が退任されました。長期間、組合事業の推進に尽力し貢献された事に、心から感謝申し上げます。総会後の事業では、インターンシップ実習、大レクリエーション、安全大会、港まつり等、無事に終了しました。特に大レクリエーション、港まつり参加は、青年部の活躍で大いに盛り上がり、次回も参加人数が増えそうです。新たな発想力と行動力に期待します。

来年は、組合創立七十周年記念式典を開催いたします。当組合員は昭和二十三年三月、組合員の相互扶助の精神に基づき、組合員のために必要な共同事業を行い、組合員の自主的な経済活動を促進し、かつその経済地位の向上を図ることを目的とし創立しました。過去記念式典は、二十年、三十年、三十五年、四十年、五十年、六十年を区切りに挙行しました。組合事業の歴史変遷の再確認の上で重要な行事であります。組合員の多くの参加と協力をお願いします。

朝夕肌寒い季節です、組合員の皆様には、健康に注意して無事故、無違反、無災害で仕事に従事してください。組合関連の大きな事故はありませんが、施工ミスによる第三者損害賠償請求が増加傾向にあります。心に余裕を持って、基本を守り仕事に向き合ってください。

役員会だより

第一回役員会

二十九・五・九

一、慶弔報告

(有)新光電気工業代表者逝去

二、貸付報告・無し

三、各支部報告並びに提案事項

各支部それぞれ支部会議を開催

四、総務委員会事項

(1) 定期健康診断の実施結果について

(2) 組合員の異動

(3) 平成二十九年年度（第六十九回）通常総会について

(4) 道工組平成二十九年年度総代会について

(5) 事務局長の選任について

五、事業委員会事項

(1) 内線工事会社研修会の開催結果について

(2) 二級引込線工事士認定講習・認定試験の開催結果について

(3) イルミネーション撤去工事並びに決算報告について

(4) 第二種電気工事士試験（学科）準備講習会について

(5) 第三回役員会及び北工連絡会の開催について

(6) 北電・組合連絡協議会の開催について

(7) 二級引込線工事士安全技能講習（無墜落昇降柱法訓練）の実施について

(8) 函館工業高校電気科生徒のインターンシップ現場実習の受入について

六、その他

(1) 青年部平成二十八年度決算報告並びに平成二十九年年度予算説明

(2) 第二十五回大レクリエーション大会の開催について

第二回役員会

二十九・五・二十六

一、慶弔報告

(有)澤口電気商会代表者ご母堂逝去

(有)AKI電気工事代表者病氣見舞い

二、貸付報告・無し

三、各支部報告並びに提案事項

各支部それぞれ支部会議を開催

四、総務委員会事項

(1) 平成二十九年年度（第六十九回）通常総会の開催について

五、事業委員会事項・無し

第三回役員会

二十九・六・十六

一、慶弔報告

(有)五稜郭カスガ代表者病氣見舞い

(有)谷電気工業所代表者ご母堂逝去

二、貸付報告・無し

三、各支部報告並びに提案事項

各支部それぞれ支部会議を開催

四、総務委員会事項

(1) 平成二十九年年度（第六十九回）通常総会の開催結果について

(2) 役員の担当業務について

(3) 退任役員の慰労金の支出について

(4) 事務局職員の賞与の支給について

五、事業委員会事項

(1) 第二種電気工事士試験（学科）準備講習会の開催結果について

(2) 第二種電気工事士試験（技能）準備講習会の開催について

(3) 安全大会の開催について

六、その他

(1) 新・旧役員懇談会について

(2) 第二十五回大レクリエーション大会の開催について

(3) 港まつりへの参加について

(4) 全日電工連全国大会について

第四回役員会

二十九・八・二十二

一、慶弔報告

タマツ電機工業(株)代表者ご母堂逝去

ユタカ電機(株)代表者ご母堂逝去

(有)森電設代表者逝去

二、貸付報告・無し

三、各支部報告並びに提案事項

各支部それぞれ支部会議を開催

四、総務委員会事項

(1) 第二十五回大レクリエーション大会の開催結果について

(2) 事業運営委員会の運営について

(3) 「いなづま」一四二号の発行について

五、事業委員会事項

(1) 二級引込線工事士・計測器工事士安全技能講習（無墜落昇降柱法訓練）の実施結果について

(2) インターンシップの実施結果について

(3) 第二種電気工事士試験（技能）準備講習会の開催結果について

(4) 安全大会の開催結果について

(5) 港まつりへの参加結果について

(6) 第一種電気工事士試験（学科）準備講習会の開催について

六、その他

(1) 組合創立七十周年記念行事について

(2) 道工組親善ゴルフ大会について

組合行事

4月6日 検満業者打合せ会議

10日 函館高等技術専門学院入学式に玉津理事長出席（函館高等技術専門学院）

14日 江差支部総会

14日 検満業者打合せ会議

15日 八雲支部総会

17日 福島支部会議

18日 定期健康診断（組合Ⅱ二四一名受診）

19日 東部支部総会

21日 正副理事長打合せ会議

21日 労働保険の更新手続（組合会議室）

25日 渡島支部会議

25日 総務委員会

26日	北電・道工業組合本部連絡協議会に玉津理事長出席(道電気会館)
27日	道工業組合役員会に玉津理事長・大倉副理事長出席(道電気会館)
全日	北海道電力(株)関連工事安全協議会 函館配電部会定例協議会に對馬副理事長出席(北電函館支店)
28日	検満業者打合せ会議
5月2日	組合期末監査
全日	正副理事長打合せ会議
7日	第二種電気工事士(学科) 受験準備講習会(ポリテクセンター11名)
9日	総務委員会・事業委員会
全日	第一回役員会
11日	道工業組合監査に大倉副理事長出席(道電気会館)
12日	道工業組合役員会に玉津理事長・大倉副理事長出席(道電気会館)
13日	渡島支部総会・観桜会
14日	第二種電気工事士(学科) 受験準備講習会(ポリテクセンター11名)
15日	検満業者打合せ会議
17日	西部支部会議
19日	北部支部会議
20日	青年部総会
21日	第二種電気工事士(学科) 受験準備講習会(ポリテクセンター11名)
22日	東部支部会議
全日	中央会理事会・総会に玉津理事長出席(ホテル函館ロイヤル)
26日	第二回役員会
全日	第六十九回通常総会(本人出席四十七名)
28日	第二種電気工事士(学科) 受験準備講習会(ポリテクセンター11名)
6月1日	西部支部研修旅行(富山・長野方面)
3日	東部支部研修旅行(秋田方面)
4日	検満業者打合せ会議
6日	道工業組合役員会に玉津理事長・大倉副理事長出席(札幌ビューホテル大通公園)
7日	

全日	道工業組合通常総代会十一名・奥村事務局長出席(札幌ビューホテル大通公園)
全日	道工業組合創立五十周年記念式典十一名・奥村事務局長・伊藤主任出席(札幌ビューホテル大通公園)
13日	江差支部会議
16日	第三回役員会
全日	北工連絡会(組合会議室11北電八名・組合十八名出席)
23日	北電・工事組合連絡協議会(組合会議室11北電三名・組合七名)
28日	青年部大レクリエーション大会打合せ会議
29日	二級引込線工事士・計測器工事士安全技能講習(組合会議室・北電旧資材管理跡地11九十二名受講)
7月3日	渡島支部会議
4日	東部支部会議
全日	検満業者打合せ会議
5日	全道事務局長会議に奥村事務局長出席(道電気会館)
全日	函館工業高校インターンシップ安全講習・太平洋セメント上磯工場見学・知内発電所見学(工業高校生徒四十名参加)
6日	函館工業高校インターンシップ現場実習
7日	(組合十二事業所ほか五企業・団体 生徒四十名)
9日	第二十五回大レクリエーション大会(グリーンピア大沼11三四九名参加)
10日	函館港まつり「ワッショイはこだて」参加団体責任者会議に伊藤主任出席(サンリフレ)
11日	道工業組合臨時役員会に玉津理事長・大倉副理事長出席(道電気会館)
12日	函館地区中央会事務局長会に奥村事務局長出席(ホテル函館ロイヤル)
全日	検満業者打合せ会議
全日	港まつり担当特別委員会
14日	北部支部会議
15日	第二種電気工事士(技能) 受験準備講習会(ポリテクセンター11組合員九名)
17日	(ポリテクセンター11組合員九名)
21日	安全大会(組合会議室11一〇五名出席)
25日	八雲支部安全大会(北電八雲営業所11

全日	二十三名出席)
全日	江差支部安全大会(北電江差営業所11十四名出席)
全日	江差支部会議
26日	福島支部安全大会(北電福島営業所11十名出席)
27日	計測器工事工量改定説明会・意見交換会に玉津理事長出席(道電気会館)
全日	検満業者打合せ会議
29日	東部支部親睦会
8月2日	函館港まつり「ワッショイはこだて」(一七四名参加)
8日	正副理事長打合せ会議
22日	第四回役員会
23日	第一種電気工事士定期講習(フォーポイントバイシェラトン11一〇二名受講)
31日	正副理事長打合せ会議
9月1日	第十六回道工業組合親善ゴルフ倶楽部交流戦(アンビックス函館倶楽部11八十二名参加)
全日	検満業者打合せ会議
4日	いなづま編集会議
7日	組合創立七十周年記念行事実行委員会(組合会議室)
全日	港まつり担当特別委員会
13日	道工業組合役員会に玉津理事長・大倉副理事長出席(道電気会館)
全日	北電・道工業組合本部連絡協議会に玉津理事長出席(道電気会館)
15日	組合創立七十周年記念行事実行委員会(組合会議室)
16日	第一種電気工事士(学科) 受験準備講習会(ポリテクセンター11十三名)
17日	第一種電気工事士(学科) 受験準備講習会(ポリテクセンター11十三名)
23日	第一種電気工事士(学科) 受験準備講習会(ポリテクセンター11十三名)
24日	第一種電気工事士(学科) 受験準備講習会(ポリテクセンター11十三名)

第六十九回 通常総会開催

平成二十九年第六十九回通常総会が五月二十六日（金）、組合会館大会議室において組合員数一八六名中本人出席四十七名、委任状出席一二四名で開催された。

奥村事務局長が午後一時三十分の開会を宣言。次いで玉津理事長より挨拶があり、電力小売自由化に伴うスイッチング工事による増益した昨年度の総括と今年度の一層の協力を組合員へ求めた。

次に議長の選出に移り、奥村事務局長より議長の選出を議場へ諮ったところ事務局一任の声があり、事務局案として江差支部の森田豊彦氏（㈱上ノ国電気工業所）を指名し、異議がなかったことから、森田氏が選出され議案の審議に入った。

第一号議案

平成二十八年度事業報告、財産目録、貸借対照表、損益計算書及び剰余金処分（案）について

事務局より内容説明の後、監査報告を行い原案通り可決決定

第二号議案

平成二十九年事業計画（案）並びに収支予算（案）について

事務局より内容説明の後、原案通り可決決定

第三号議案

平成二十九年役員報酬について



事務局より内容説明の後、原案通り可決決定

第四号議案

平成二十九年組合借入金残高の最高限度額の決定について

事務局より内容説明の後、原案通り可決決定

第五号議案

平成二十九年組合員に対する貸付け（手形の割引を含む。）又は一組合員のためにする債務保証の残高の最高限度額の決定について

事務局より内容説明の後、原案通り可決決定

第六号議案

任期満了に伴う理事及び監事の改選について

議長が改選の方法について議場に諮ったところ、議長一任の声があり、議長より選考委員による指名推薦の方法を提示し、選考委員の選任を行い、選考委員による選考に入り理事十二名、監事二名の選任を行い、承認を得て可決決定した。



第七号議案

北海道電気工業組合総代及び推薦委員の選出について

事務局より理事会へ一任願いたい旨の提案があり、原案通り可決決定。
以上、すべての議案について原案通り可決し、午後三時二十分、議長は閉会を宣言し平成二十八年通常総会は終了した。

総会終了後、臨時理事会が開催され、選任された理事の中から理事長にタマツ電機工業（株）玉津眞史氏が再任され、副理事長に（株）対馬電設 對馬豊四郎氏と大倉電気（株）大倉直氏が留任した。（株）繁田電工 繁田一義氏、樺電工業（株）平沼冠三氏、（株）谷電氣工業所 吉田好氏、（株）平松電氣工務所 大谷治身氏の四氏が退任し、三洋電工（株）渋谷重則氏、（株）清電工 清政見氏、大鎌電氣（株）大鎌幸雄氏、岩井電氣工業（株）岩井秀義氏が新任し、新体制が発足した。



青年部活動報告

今年度も数か月が経過し、その間様々な事業を行ってきました。そこで今年度開催・協力・参加してきた事業について活動報告していきたいと思います。

まず、五月二十日ホテルトラにおいて平成二十九年度青年部通常総会を開催。親組合から玉津理事長に御出席をいただきました。前年度の活動報告・決算報告及び今年度の開催事業案・予算案を参加者のご協力のお陰で全議案を無事承認を得ることができました。また、役員の任期満了に伴い、役員の改選を行い、青年部卒業まで間近ということもあり、中野氏と松橋氏が役員から退任し、次のようなメンバーで運営していく事となりました。

部長 大鎌幸雄
副部長 大谷悟 作並真一 岩井健太
理事 矢本剛 南直仁 石塚徹 辻智幸 鶴蒔享兵
監事 成田桂一

石塚氏・辻氏・鶴蒔氏は今年度から新たに役員に就任して頂きました。また、中野前部長に相談役としてご協力をお願いいたしました。

新入部員も増え、今年度は部員五十一名にて活動していきま。部員の方々には開催事業に是非参加していただきたいと思ひます。

七月に大レクリエーション大会、八月にワッショイ函館と大きな事業を行いました。この二つにつきましては別に報告しておりますので、詳細は割愛させていただきます。

私からは、第六回はたらくのりもの大集合
開催日時：八月二十日（日）十時～十六時



開催場所：港町埠頭
主催者：函館私立幼稚園 PTA 連合会

への参加について報告いたします。このイベントはドクターヘリ・自衛隊の掃海艇・大型重機等、普段触ったり間近で見ることのできない乗り物が一堂に集まり試乗体験等ができるものです。我々青年部は、第二回開催時から五年連続で参加しており、今年度も昨年同様、高所作業車三台で参加し、部員十二名と組合事務局伊藤氏の計十三名にて高所作業車の試乗体験を行いました。



当日は天気も良く十時の開場時間から多数の来客でした。例年会場から国道まで渋滞が起きるほどの人気イベントということもあり我々青年部も万全の準備で臨みました。朝から行列が途切れることもほぼなく、大盛況な試乗体験会となりました。子供達だけでなく親御さんも沢山試乗してくださり、良い感想を多く頂き、大変ながらも今年も参加した甲斐がありました。また、日焼けで真っ赤になりながらも参加してくれた部員の方々には大変感謝しております。来年度もオファアがありましたら是非参加したいと考えておりますので、部員の皆さまへご協力をお願いする次第です。今年度はこれからも様々な事業を計画しておりますので部員の皆さまへは是非参加をよろしく願ひいたします。更に、部員の方々が所属する組合員の皆様にも青年部の主なる目的である電気工事事業の後継者の育成という理念にご理解をいただき、事業への参加に寛大な目で見てほしいと思ひます。

最後に各事業を企画・運営した関係者にお礼を申し上げます。活動報告とさせていただきます。

函館地方電気工事協同組合青年部

副部長 大谷 悟

第二十五回 大レクリエーション大会

さる七月九日、第二十五回大レクリエーション大会がグリーンピア大沼にて開催されました。

今年は天候が不順で、事前の天気予報では雨模様でしたが、当日は晴れ間ものぞく過ごしやすい天候となりました。定刻通り十時に開会をし、大鎌青年部部長の開会宣言、玉津理事長の挨拶、北海道電力(株)函館支店加藤配電部長、井田市議会議員の挨拶を頂いた後、全員でラジオ体操を行って身体をほぐし、いよいよ競技の開始となりました。

今大会は入場者数が事前申し込み、当日券販売と合わせて三四〇名強となり、例年通りの人気イベントであることを再認識し、運営スタッフとして、事前準備も当日の運営にも力が入りました。

昨年度の意見や反省点を活かし、より参加者が楽しめるイベントとするため、昨年初めてメイン競技として採用した『王様ドッチボール』ではなく、復活を望む声が多かった綱引きをメイン競技として採用しました。組み合わせの関係上、青年部も参加しましたが、勝ち残ってしまうと大会の運営に支障をきたすことから、わざと？初戦敗退となりました。優勝は前評判取り、松山電気工業をメインとした





江差支部が綱引きとして二連覇となる優勝を果たしました。

また、新しい試みとして遊具コーナーを設置し、ペットボトルに水を入れ、空気の圧力で飛ばすというロケットを子ども達に楽しんでもらいました。準備段階で青年部の四十前後のオジサン達が楽しんでしまうというハプニングもありましたが、加減によつては飛行距離が五十m以上ということもあり、子ども達は普段街中では体験することが出来ないロケット発射を楽しみ、笑顔が印象的でした。夏休みの自由研究にもなりそうですね。

さらに新たな試みとして高所作業車の試乗体験コーナーも初めて設置し、普段お父さん達が作業している高さを子ども達や奥さまにも楽しんでいただきました。食事は昨年同様、箱館移動販売促進連合会とコラボし、カレーライス、たこ焼き、手羽先の提供をしていただき、参加者も堪能しておりました。

競技もジャンケン大会から大抽選会に至るまでスムーズな進行で行われ、参加者に豪華景品が当たり各所で溜息と歓声が起っていました。

閉会式では、大会委員長の大倉副理事長より北海道電力、電材及びメーカー各社、その他協賛して頂いた関係各社に対しての御礼と青年部員に対しての労いの言葉が述べられ、大盛況のうちに今大会は終了しました。

来年度はまた、違ったメニュー、競技を青年部一丸となって検討し、次年度大会を成功させたいと今から意気込んでおります。

函館地方電気工事協同組合青年部

副部長 岩井 健太



函館港まつり「ワッショイは」だて

平成二十九年八月二日、開港一五八周年函館港まつり「ワッショイは」だてで、十字街・松風コースに、当組合はお馴染みの電線マン音頭で参加いたしました。今年度は電線マンの衣装を青年部でアイデアを持ち寄り、見た目にも揃った踊りを見せようと十四着新調しました。また、スズメ三羽も二年ぶりに復活しようということになり、着る方に負担にならない衣装（着ぐるみ）を三着準備し、新電線マンともども観客・審査員にアピールしようと意気込みました。

事前の港祭り特別委員会の協議の結果、今年も山車の電源・電飾工事を青年部で請負うこととなり、對馬実行委員長より「来年は山車を新車にする・・・？」と言う言葉を信じ、穴をあちこち開け、「電」の文字が電飾で見えるよう施工しました。

今年度の参加者が今までに類を見ない申込数で、組合関係者が一七四名、渡島コロニー三十五名、合計二〇九名という一大所帯となり、ハッピーが足りず、急ぎよ昨年まで使用した旧電線マン衣装も使うことになるなど、やりくりに苦慮しました。

いよいよ本番当日、電線マン八人を最前列・中段・最後列の三列に配置してパレードの統制を取り、参加者には踊りが揃うと綺麗に見えるだろうということで、光る装飾を手首に巻いてもらい、『美しい電線マン音頭を！』を合言葉に十字街をスタートしました。

今回も恥ずかしながら私作並がMCとしてマイクを握り、今回もスタートから飛ばしすぎたせいか、序盤で声も枯れ（笑）ましたが、参加者の皆さまの勢いは序盤から留まることを知



らず、私もその勢いを借り、力の限り声をあげました。中盤、参加者の疲れも見え隠れしたところ、NCVカメラ前となり、カメラ効果か勢いが復活し、いよいよ大門のメインストリートです。駅正面のカーブに差し掛かるころでも列の乱れがなく、綺麗にカーブしながら電線マン音頭を踊る、その素晴らしさに私は感動しました。大

門の夜に、光る装飾を巻いた綺麗な手の動きが最高でした。さあここからは賞を目指して最後の力を振り絞ります。ラストスパートから一気にゴールにたどり着き、私も皆さんヘトヘトでした。

その後、直会会場のホテルロイヤルでの乾杯でビールを飲むと、皆さん息を吹き返していました。その後抽選会を楽しんでいたが、直会も終了。今年の函館地方電気工事協同組合の夏は終わりました。後日港まつり表彰式において、コスチューム賞を頂きました。今回電線マンの衣装を新調したおかげかなと思いましたが、旧衣装で臨んだ昨年度もコスチューム賞でした（笑）一昨年は団結賞を受賞しております。三年連続賞を取れたのも組合の団結力のおかげだと思います。来年こそ優勝を目指して頑張りたいと思います。皆さまのご協力を宜しく願っています。

最後にご参加いただいた組合員とその家族の皆さま、またご協賛いただいております電材問屋各社並びにメーカー各位に誌上を借りて厚く御礼申し上げます。

函館地方電気工事協同組合青年部

副部長 作並 真一



二級引込線工事士・低圧計測器工事士安全技能講習

低圧引込線及び低圧計測器工事を施工できる資格である、二級引込線工事士・低圧計測器工事士の安全技能講習が六月二十九日開催され、昨年度より、八雲・江差・福島各支部の組合員も函館にて一括して受講することとなり、今年度は九十二名が受講しました。今年度より、函館市八幡町の北電旧資材管理跡地の模擬柱が老朽化により更新され、新しい模擬柱で実技講習である、『無墜落昇降柱法訓練』を行いました。

引込線工事士運用要領が改定されて以来四年が経過し、要領改定後座学講習にて毎年実施をしている計測器練習問題も一巡したことから、今年度よりスマートメーターに特化した計測器練習問題を行いました。正答率は四十六%ほどでしたので、あまり高いと言えませんが、練習問題を機にスマートメーターの知識を深めていただきたくとともに、その内容を事業所内で広くお伝えいただきたいと思います。

また、文末に記載する事項は要領の重要事項であります。組合員の皆さまにおかれましては、本要領を熟知のうえ、引込線工事士入退社の場合は、速やかに『引込線工事士異動届』の提出をお願いいたします。

ご多用の中、講師を務めて下さいました北電函館支店の皆様には誌上を借りて厚く御礼申し上げます。

◎引込線工事士制度についての注意点

●引込線工事士の認定は、発行日より満五年を迎える年末までの期間有効であり、その期間内に安全技能講習を受講しなければ失効します。

●引込線工事士が入退社した場合には『引込線工事士異動届』を速やかに組合事務局まで提出ください。

●低圧計測器工事士とは、一級または二級引込線工事士の有資格者が、身体能力低下その他の理由で資格変更を希望し地区運営委員長が認めた者。なお、資格変更と同時に一級・二級引込線工事士資格は停止する。

ただし、所属工
事会社の施工会
社区分の変更に
伴い、引込線工
事士資格へ復帰
できる要件は

- 前回の引込線工事士安全技能講習から引込線工事士復帰までの期間が5年以内である場合。
 - 前回の引込線工事士安全技能講習から引込線工事士復帰までの期間が5年以内である場合。
- 過去の講習から引込線工事士復帰までの期間が5年超過の場合は、新規に同講習を受講し昇降柱技能を認定された場合。(引込線工事士運用要領抜粋)



平成二十九年度 安全大会

八月から始まる「電気使用安全月間」に先立ち、本年度の安全大会が当組合管内四箇所で開催され、函館地区では七月二十一日、組合大会議室において、組合



「慣れや油断による事故が多く、基本ルールを徹底することで防ぐことができる。より安全に対する取り組みの継続を」と呼びかけた。

安全講話では、また、北電函館支店配電グループ副長の川合新氏から『安全について』が講演された。

最後に青年部の鶴崎享兵氏(南風光電設)が安全宣言を行い閉会した。

また、八雲支部は七月二十五日(二十三名)、江差支部は七月二十五日(十四名)、福島支部は七月二十六日(十名)が出席して各北海道電力営業所において開催され、本年度の安全大会は終了した。



員及びその社員一〇五名が参加した。

玉津理事長が「事故を起こすと家族や会社に大きな負担となる。講話で学んだことを社内で徹底してほしい」と挨拶。

来賓の石橋修北電函館支店配電グループリーダーは近年の市内や道内の労災事例を挙げ、



支部だより

東部支部研修旅行

東部支部では六月三日～四日で青森・秋田方面で研修旅行を行いました。

東部支部員三十二名中、十一名で函館駅集合、八時の函館ライナーに乗り、新函館北斗駅から新青森駅まで新幹線の車内ではワゴン止め朝から宴会？一時間で到着、貸切りバスに乗る前に新青森駅見学（函館



より凄いです）お土産買い（早い）一路五所川原市へ。五所川原市への道中、コンビニでビール等買いたまた宴会？をしながら移動、五所川原市に到着後立佞武多（たちねぶた）の館を見学しました。この館は高さ二十mを越す大型の立佞武多を常時展示・保管しており、それに加えて制作スペースとすることを目的に作られた館で、立佞武多の大型のねぶたは年に一基制作され、それが三年間使用されることから、祭りでは常に三基のねぶたが出陣するそうです。今度は祭りも見たいですね。昼食は自分で食材を選んで勝手にのつけて食べる海鮮丼「のつけ丼」、美味しかったです。皆さんマグロ・ウニ・海老など「のつけて」食し、満腹でバスに乗り男鹿半島まで四時間半移動です。途中青森県深浦町で、千畳敷海岸を見学。この海岸は、江戸時代物珍しかった津軽藩の殿様が、そこに千畳の畳を敷かせ大宴会を開いたとされることからこの名があるそうです。



たびたびトイレ休憩しながら雨の中（日本海の景色があまり見えない）無事男鹿観光ホテルに到着、温泉に入り宴会開始です。なまはげ太鼓のパフォーマンスで盛り上がり、高杉宴会部長の司会からのカラオケ、熱々の焼いた石を鍋に放り込んで調理する磯焼料理を堪能し宴も終了、二次会は近くのスナックへ、皆最後まで元気でした。

次の日はシルエットがゴジラに見えるのとこととで有名なゴジラ岩を見たかったのですが時間がないので八時にホテル出発、途中桜で有名な角館を見学、お土産を買い、水深四二三・四mの日本一深い田沢湖のたつこ姫の像を見て、田沢湖ハープガーデンにてバイキング昼食、盛岡駅まで移動、途中道の駅でお土産買って十五時に盛岡駅到着、バスガイドさん（別れを告げ、添乗員に荷物を預けて支部の皆さんにお土産を買いながら一休み、皆さん本当にお土産買いすぎですね。十六時三十分出発、無事に十九時函館駅に到着・解散しました。

今回は貸切りバスで青森・秋田旅行、移動はガイドさ

んのお話面白く楽しみました。また車内での宴会も旅の醍醐味でいろいろ話ができてよかったと思います。最後に、飲み疲れ（？）でしたが、今回、立佞武多に圧倒され、美味しい郷土料理を食べ、北東北の自然に触れ合い、日頃の疲れを癒されたかなと思います。参加された支部員皆様お疲れ様でした。また企画を練り、旅行へ行きたいと思いますので、是非参加できなかった支部員も次は参加できるように願います。

追記：バスガイドさんから、大変ですが次回の旅行の際には素晴らしい大曲の花火大会を是非見に来てくださいと言われました。

東部支部支部長

伊東 照勝

西部支部研修旅行

西部支部は六月一日から三日まで二泊三日で富山アールペンルートの研修旅行を総勢十二名で行った。

初日は十時に函館空港を出発し羽田経由で小松空港まで飛び、そこからはバスでの観光。まずは金沢の近江町市場へ。私たちは函館の朝市の風景を知っているせいか、市場の中を皆さんぐるっと一回りで特別なコメントはもなくバスへ戻る。次に向かったのは国の特別名勝に指定されている兼六園。ここではガイドの方にお願ひして園内を案内してもらいぐらりと散策。天気もよく、写真などで見るとおりの池の美しさと日本庭園の落ち着き感だ。さすが日本三大名園のひとつといわれているだけあると感じたが私はまだ他の二つは行った事がない。ガイドさんの説明も日本史を不勉強の私には難しかった。その後富山のホテルへ移動し明日の立山、アルペン、黒部ダムへの期待を胸にちよつとのお酒とおいしい料理を頂いた。

翌朝七時半にホテルを出発。途中から天候が生憎の雨となり、立山駅からの移動中もみぞれと風でものすごい寒さだった。黒部ダムに到着してからの見学も立ってられない強風で、ただただダムの上の遊歩道を売店までを歩くのみ。途中メンバーの一人の帽



子がダムの深い底まで風に飛ばされていった光景が、私が初めて行った黒部の残った印象だ。こうして悪天候の歓迎を受け二日目の旅程を終え、次の日新幹線で東京、そこから空路函館へ戻った。いろいろサプライズとハプニングがあつたが「あくおもしろかった」

西部支部支部長

高井 秀昭



新加入組合員の紹介

平成二十九年度加入の組合員を紹介いたします。

株式会社オケヤ電気設備（江差支部）

桶谷 俊明



昭和二十三年十二月十日生

松山郡江差町字豊川町一五四番地一
電話 〇一三九一五二一四七三六

推薦人―鈴木電気工業(株)・(有)上ノ国電気工業所

(加入年月日)平成二十九年五月十二日

株式会社誠正電気（西部支部）

瀧川 孝



昭和五十年六月二十日生

函館市亀田本町五十九番一四号
電話 〇一三八一四四一二〇〇

推薦人―(株)新宮電気設備・(株)外山電工

(加入年月日)平成二十九年五月十五日

有限会社北友電気（北部支部）

口岩 和也



昭和四十八年十一月十七日生

函館市桔梗町四〇三番地一八八
電話 〇一三八一四七七八五八九

推薦人―(有)栄電舎・赤石電気

(加入年月日)平成二十九年五月十六日

組合員の異動

◎代表者の変更

(新)

(旧)

一、(有)金子電気
代表取締役

田中 邦浩

金子 勝悟

一、(有)宮川電気
代表取締役

宮川 純一

宮川 誠

一、(有)新光電気工業
代表取締役

松山喜美子

松山 辰一

一、山内工業(株)
代表取締役

山内 和代

山内 大史

一、(株)ドウデン函館支店
執行役員函館支店長

杉田 一彦

永井 裕

一、(有)五稜郭カスガ
代表取締役

五十嵐洋輔

五十嵐照夫

一、(有)森電設
代表取締役

森 麗子

森 欣哉

◎住所変更

一、(株)電気企画工業

(新) 函館市富岡町三丁目九一十二
(旧) 函館市亀田本町二六一十六一

お悔やみ

平成二十九年

五月 十三日

(有)澤口電気商会代表者
ご母堂澤口千枝子殿逝去

六月 八日

(株)谷電気工業所代表者
ご母堂吉田壽子殿逝去

六月 二十日

タマツ電機工業(株)代表者
ご母堂玉津慶子殿逝去

七月 六日

ユタカ電機(株)代表者
ご母堂伊東ツル殿逝去

七月 二十六日

(有)森電設代表者 森欣哉殿逝去

八月 二十二日

赤石電気代表者
ご母堂赤石キヌエ殿逝去

函館工業高校電気科生徒 インターンシップ現場実習受入

今年度も函館工業高校より当組合に対し、電気科生徒のインターンシップ現場実習受入要請がありました。当組合としても函館の電気業界の発展・将来の人材育成の為、インターンシップ現場実習受入に協力することとし、七月五日から七月七日まで実施しました。

初日、組合大会議室にて玉津理事長より挨拶を頂き、その後對馬副理事長より服装の確認、現場実習における注意点など安全講話を行った後、バスにて移動しました。行程は例年同様、太平洋セメント上磯工場と知内発電所の見学でした。昨年まで太平洋セメント上磯工場では工場敷地内をバスの車窓より工場設備外観のみの見学でしたが、今年度はバスを降り工場施設内の一部を見学させて頂くことが出来ました。知内発電所では施設内見学、最後には函館工業高校OBに対する質疑応答の時間を設けさせて頂き、初日の行程が終了しました。



二・三日目は各事業所にて現場実習でした。ご多忙の中、昨年よりも多くの事業所より受入可能とのご回答を頂きました。

最後になりますがインターンシップ現場実習受入にご協力頂きました組合員の皆さまに誌上を借りまして、改めて厚く御礼申し上げます。

ご協力頂いた組合員

■大倉電気㈱
■樺電工業㈱
■梶原電気工業㈱
■協同電気通信㈱

■(株)新宮電気設備
■タマツ電機工業㈱
■(株)富岡電気工事
■(株)ふじでん
■函館拓北電業㈱
■(株)対馬電設
■(株)外山電工
■北海電気工事(株)函館支店

第二種電気工事士試験 受験準備講習会

平成二十九年年度第二種電気工事士試験に先立ち、受験準備講習会の学科講習が五月七日・十四日・二十一日・二十八日の四日間、(上期学科試験は六月四日実施)技能講習が七月十五日・十六日・十七日の三日間(技能試験は七月二十二日、二十三日実施)で行われ、今年度も当組合とポリテクセンター函館との共催で開催されました。

昨年度までポリテクセンター函館に在職され、第一回電気工事技能競技北海道大会の選手指導を行っていたたいた高木講師が転勤となり、講師の方も新たに学科講習は行われ、受講者は熱心に受講していました。また、七月に行われた技能講習では前述の高木講師



が来函され、講師を務めていただき、熱のこもった講義を行っていただきました。

学科試験は上期・下期にわけて行われ、本講習会は上期試験の直前にしか開催いたしません、資格取得を目指す方には是非とも受講していただきたい内容となっております。

学科試験の結果は十一名受験で合格率は六三・六%(全国平均六一%)、技能試験の結果は六名受験で合格率は二〇・〇%(全国平均七一・三%)でした。

最後に、準備講習会を実施して頂いたポリテクセンター函館の皆さまに感謝申し上げます。

第16回道工組親善ゴルフ 倶楽部交流戦

平成二十九年九月一日、道工組を含めた、全道電気工事協同組合ゴルフ対抗戦『道工組親善ゴルフ倶楽部交流戦』が、北斗市のアンビックス函館倶楽部を会場として開催されました。

この大会は、平成十四年、函館電協と札幌電協の二単協の有志で開催することとなったゴルフ交流戦『どっこいクラブ』が本大会の前身で、回を増すごとに年々参加希望の単協が増え、今では全道の単協が一同に会し、『道工組親善ゴルフ倶楽部交流戦』と名称も変更され、各地区持ち回りで幹事を行い、今回で第十六回目の開催となりました。函館地区の開催は平成二十三年以来の開催となり、今大会は青年部が中心となり準備を進めてきました。

当組合からは、全組合員へご案内したところ、二十六名のプレーヤーの参加のご回答をいただき、団体戦・個人戦の優勝を目指し、大会当日まで日々練習に励んでいたと聞いております。

開催当日は晴天に恵まれ、十時三十分、全道から八十二名のプレーヤーが集合し、当組合奥村事務局長司会のもと、小野寺道工組理事長のご挨拶、全年度覇者の武田道北電協理事長より優勝杯の返還、当組合伊東顧問より大会ルール説明、記念写真撮影等の開会式



懇親会では余興として、当組合青年部大谷副部長が編集した、プレー時の写真等がスライドショーとして会場の大画面スクリーンへ映し出され、各所で当日のプレーについてゴルフ談義に花が咲いていました。

引き続きの表彰式では、石塚青年部理事の軽妙なトークで盛

花びしホテルへ。懇親会総合司会を当組合大鎌青年部長、表彰式の司会を石塚青年部理事が担当し、小野寺道工組理事長のご挨拶、当組合玉津理事長の挨拶、当組合佐藤顧問の乾杯の発声で懇親会が開会されました。

のセレモニーが行われました。

開会式終了後、いよいよ道工組・札幌・道北・小樽・室蘭・苫小牧・空知十勝合同・函館・函館青年部の九チームに分かれ、全二十一組・八十二名が団体戦・個人戦の優勝を目指し、順次スタートしていきました。

スタート前には熱心に練習する方や静かにスタートを待つ方など様々で、最終組がホールアウトしたのは日も暮れかけてきた十七時四十五分頃でした。

プレー終了後、参加者は懇親会・表彰式会場である



り上がり、特別賞、順位賞が順次発表され、個人戦優勝が尾崎賢一さん（苫小牧電協、GROSS八八、HC一八、NET七〇）で、チームキャプテンと上位四名の計五名のスコアで争う団体戦では昨年覇者の道北電協が団体優勝で二連覇となり、当函館チームは三位、函館青年部チームは八位となりました。また、懇

親会では普段会えない全道の仲間と親睦を深めておりました。懇親会の最後に、中締めとして本年度の開催地である三上室蘭電協理事長よりご挨拶をいただき、今年度函館にて開催した道工組親善ゴルフ倶楽部交流戦が終了しました。

■今月の表紙について

『港まつりワッショイはこだて』

『函館港まつり』は昭和九年函館市が未曾有の大火に襲われたことが契機となっています。翌昭和十年、大火を機に沈んだ市民の心を盛り上げようという当時の海運業組合長、谷徳太郎の意見を受け『開港記念日』を制定する案が浮上し、これに合わせて祭りを盛大に行おうということで、第一回函館港祭りが開催されました。

また、昭和五十五年に市民の有志のグループが考案した『いか踊り』が誕生し、翌昭和五十六年港祭りへ参加。その後『いか踊り実行委員会』を結成した前述の有志は、それぞれ異業種の集まりで、結成当初二十五名ほどで始まりましたが、今では年々参加者が増加しています。

ちなみに当組合は昭和六十三年に初参加をして以



来、荒天中止の年度もありましたが、現在に至るまで連続参加しています。

今年八月二日の参加状況は全六十五団体、九九五三人が参加、その中で当組合はコスチューム賞を受賞しました。電線マンの衣装も新調したこともあり、平成二十一年十月発行の一二六号以来の表紙とさせていただきます。

編集後記

八月二十九日早朝、突然携帯電話のJアラート（全国瞬時警報システム）のアラームが鳴り響いた。北朝鮮がミサイルを日本に向けて発射したということで、テレビをつけると、慌ただしくその内容を伝える緊急ニュースが写っていた。画面には「丈夫な建物や地下に避難して下さい」とあり、私も含めて建物も場所も無い地域では、パニックになった人が大勢いたのではないでしょう。

続いて九月三日、大陸間弾道ミサイル搭載用の水爆実験に「完全成功」と発表された。又、Jアラートが鳴ったら不安が倍増する事は間違いありません。

ある雑誌に載っていたのですが、衝撃・爆風による被害を避けるためには、ドアや窓を全部閉め、雨戸やカーテンなども閉じて、エアコン、換気扇のスイッチも切り、ドアや窓ガラスからできるだけ離れることだそうです。

これまでの北朝鮮の暴挙に対して、国連安全保障理事会は輸入輸出の制裁強化を求めているが、その八割近くを占める中国やロシアが反対しているのが現在の状況です。ぜひ影響力のある中国・ロシアが北朝鮮を説得してもらい、できるだけ早く核問題を解決して、もうJアラートが鳴ることが無いよう願うばかりです。

題字 小寺寛一（第二代理事長）

発行所 函館地方電気工事協同組合
編集所 総務委員会
住所 函館市日乃出町7番22号
印刷所 龍文堂印刷株式会社



河村電器産業株式会社

北海道支店函館営業所

北海道支店



003

0006

札幌市白石区東札幌六条一丁目一三〇
札幌三信物流ビル四階

TEL (011) 822-1153
FAX (011) 822-1054



040

0011

函館市本町六十五 富士火災函館ビル三階

TEL (013) 333-7436
FAX (013) 333-7437



人とあかりの調和を考える

大光電機株式会社

函館事務所

札幌支店



064

0804

札幌市中央区南四条西一丁目二二

函館事務所



042

0943

函館市乃木町二一パレシャル九七二階

TEL (013) 841-6450
FAX (013) 841-6785



パナソニック(株)エレクトロニクス社

北海道電材営業所
函館電材出張所



041

0808

函館市桔梗二丁目二四一六

TEL (013) 471-6333
FAX (013) 471-6366

あしたの光で“ごちようい”を創ります。

東芝ライテック株式会社

北海道営業部函館営業所



040

0001

函館市五稜郭町一十四 五稜郭114ビル三階

TEL 五一一六〇〇二
FAX 五一一六〇〇二

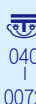


TANAKA CO., LTD.

情報社会をパフォーマンスする

田中商事株式会社

函館営業所



040

0072

函館市亀田町一三番八号

本社・東京 電話 四〇一〇八〇〇
営業所・札幌、札幌東、釧路

電設資材総合卸



株式会社

新光照明



040

0024

函館市高盛町七番一號



007

0812

札幌市東区東苗穂十二条三丁目十九番八号

TEL (011) 790-1153 (代)
FAX (011) 790-1153



ISHIGAKI ハイテク電気設備機器と情報通信エンジニアリングサービス

石垣電材株式会社

本社

札幌市中央区北六条西一三丁目一番地

函館支店

函館市西桔梗町五八九番地三番

八雲営業所

函館市西桔梗町五八九番地三番
二海郡八雲町内浦町二三四一五
番 (0137) 631-3269

未来環境を語る・造る

株式会社 エミヤ

函館営業所



041

0824

函館市西桔梗町五八九一四九

電話 四八一五七五一(代表)
本社 札幌・営業所 釧路、苫小牧、小樽